あきたのりょういかちと

VOL. 509
2020.3.25

「ちびっこ応援団」

表紙の写真は**第14回「美しく豊かな農村づくり写真コンクール」**にて**優秀賞を受賞した作品**です。おばあちゃんと一緒に歩く男の子たちの後ろ姿を見ていると、暖かみが感じられ、ほのぼのとした気持ちにさせてくれますね。今年度開催の**第20回「美しく豊かな農村づくり写真コンクール」**の**入賞作品**については、本会報誌内、写真コンクールのページに直接HPへアクセスできるQRコードも載っております。是非ともご覧ください！

撮影者／斎藤　康樹

イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1　本会第62回通常総会を開催
CONTENT 2　全国水土里ネット表彰式

本会第62回通常総会を開催

▲髙貝会長挨拶

3月13日（金）、本会第62回通常総会が秋田市文化会館で開催され、会員100名（内、実出席者21名、書面議決数77名、委任状2名）が出席した。

政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえ感染拡大防止の観点から、書面議決を主体とするほか、表彰式を中止するなど規模を縮小して開催した。

開会にあたり髙貝会長が、「昨年は皇位の継承があり、元号も『平成』から『令和』に変わった大きな節目の年でありました。農業を取り巻く情勢も米政策の見直しや相次ぐ国際貿易協定の発効など、大きく変化するなかで、本県においては、担い手への農地集積や複合型農業経営への転換が進む一方、生産現場における労働力不足などの課題も浮かび上がっている。活力ある秋田の農業、農村を次の世代に引き継いでいくためには、『あきた型ほ場整備』を引き続き強力に推進するとともに、労働力不足の解消や生産規模の拡大などに大きな成果が期待できるスマート農業の導入を見据え、その効果を最大限発揮できる基盤整備事業に取り組んでいくことが重要である」と挨拶を行った。

▲柿崎議長

議事では、柿崎幹夫理事長（秋田県雄物川筋土地改良区）を議長に選任し、平成30年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録、令和元年度一般会計収支補正予算（理事会専決処分）、令和2年度事業計画・一般会計収支予算等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに議決された。令和2年度事業計画の重点項目として、(1) 農業の競争力強化と国土強靱化の支援、(2) 土地改良区体制強化の支援、(3) 豊かな農村環境づくりへの支援、(4) 活力に満ちた地域活動への支援が位置づけられた。

また、役員の補欠選任がなされ、役員の新体制が発足した。最後に藤原専務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。

総会直後には理事・監事による互選会が行われ、専務理事を決定した。

なお、表彰者と選任された役員は次の通り。

令和元年度秋田県土地改良功労者表彰

団体表彰

【金章】昭和土地改良区
大仙市西仙北土地改良区
雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区

【銀章】男鹿市五里合土地改良区

【銅章】左手子土地改良区

個人表彰

中村修太郎（小坂町土地改良区監事）、富樫安民（大館市土地改良区理事）、佐々木拓也（大館市土地改良区事務局次長）、藤田忠美（能代市種土地改良区総括監事）、児玉俊一（三種町土地改良区事務局長）、工藤久幸（雄和土地改良区理事長）、菊地芳郎（鳥海町笹子土地改良区総括監事）、三浦和則（内越土地改良区理事）、佐々木浩二（由利本荘市土地改良区理事）、渡辺幹夫（由利本荘市土地改良区理事）、渡辺聡（由利本荘市子吉土地改良区事務局長）、後藤健敏（秋田県西仙北土地改良区理事長）、岩根浩幸（大仙市神岡支所農林建設課長）、高橋悦子（秋田県南旭川水系土地改良区会計主任）、丹孝一（羽後町土地改良区総括監事）、藤平榮作（雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区理事）

（敬称略）

【選任された役員】

役　職	支　部	所属団体名	職　名	氏　名
専務理事	員外	秋田県仙北地域振興局	局長	佐藤　暢芳

決　議

記

一　農業の競争力強化を実現するため、農地の大区画化や水田の汎用化・畑地化を一層推進すること。特に、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業については、地域の状況に応じて柔軟に対応できる施策を講ずること。

一　農業生産現場において労働力不足が深刻化しているなか、スマート農業の導入を見据え、その効果を最大限発揮できる基盤整備事業への支援を充実すること。

一　国土強靱化を図るため、防災重点ため池等の農業水利施設の適切な保全管理と耐震化対策などの機能強化を計画的、かつ着実に実施するための支援を充実すること。

一　これらの事業を円滑に実施できるように、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備当初予算を確保すること。

令和２年3月13日

秋田県土地改良事業団体連合会　第62回通常総会
（水土里ネット秋田）

目次 CONTENTS

本会第62回通常総会を開催 2
水土里ネット秋田要請活動 4
全国水土里ネット表彰式 －県内受賞者について－ 4
農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が開催される 5
令和元年度土地改良区体制強化事業 6
令和元年度秋田県土地改良区統合整備推進協議会 8
あきた水土里ネット女性の会 8
新たに合併した土地改良区について 9
令和元年度第3回水土里の広報委員会を開催 10
令和元年度東京フォーラム「農業農村の多面的機能の保全対策」が開催される 12
退職される方々からひと言 12
おらほの自慢っこ～来てけれ！八郎潟町～（八郎潟町産業課：千田　浩美） 13
ようこそ土地改良区へ（男鹿市土地改良区：三戸　悟） 14
随想（秋田市上新城土地改良区：伊藤　あや子） 15
第20回美しく豊かな農村づくり写真コンクール 15
水土里レポーターによる写真投稿（馬場目川水系土地改良区：石井　貴浩） 16
連合会日誌 16
会員だより 16
リレー感想文（秋田県土地改良事業団体連合会　総務企画部　主事：寺澤　藍） 16
編集後記 16

農業農村整備関係予算の安定的確保について

水土里ネット秋田要請活動

高貝会長は、1月15日（水）に東北農政局へ、1月16日（木）に農林水産省へ令和2年度土地改良予算の確保について要請活動を行った。

▲農林水産省農村振興局　奥田次長への要請活動

▲東北農政局　小林次長への要請活動

全国水土里ネット表彰式
― 県内受賞者について ―

3月26日（木）、全国水土里ネット第62回通常総会が東京都「都市センターホテル」で開催されますが、同総会に合わせて行われる予定の「第61回全国土地改良功労者等表彰式」が、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況及びこれに対する政府の基本方針等を踏まえ、6月下旬に順延することとなりましたのでお知らせします。

なお、今年度の本県関係の受賞者は次の通りです。

第61回全国土地改良功労者等表彰

＜団体表彰＞

金　章　昭和土地改良区

銀　章　仙北市黒倉堰土地改良区

＜個人表彰＞

役　員　加藤　光儀（馬場目川水系土地改良区理事長）

職　員　鈴木　　弘（秋田県仙北平野土地改良区事務局長）

職　員　石川　　智（秋田県雄物川筋土地改良区事務局長）

職　員　田中美智子（秋田県仙南土地改良区事務局長）

令和元年度農業農村整備優良地区コンクール表彰

【農業振興部】

農林水産大臣賞　　平根地区（由利本荘市土地改良区）

（敬称略）

農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が開催される

1月28日（火）秋田県庁第二庁舎8階大会議室にて、農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が行われた。キャラバンには、県内全域の土地改良区の役職員、市町村担当者、秋田県農業公社職員など多数の関係者が参加し、本会からも髙貝会長他役職員6名が出席した。

▲会場の様子

開会に当たり、秋田県農林水産部参事（兼）農山村振興課長の髙野尚紀氏より「国の概算決定において、令和元年度補正、令和2年度当初、臨時・特別の措置を合わせ、6,515億円の予算を確保することができた。これも関係者の皆様が、地域の実情や農業農村整備事業の重要性を多方面に発信していただいたからこそであり、改めて感謝申し上げる。県でも令和2年度予算編成作業が進んでおり、複合型生産構造への転換に向けたあきた型ほ場整備や農村地域の国土強靭化、水利施設等の長寿命化対策を重点施策として実施することとしている。引き続き、皆様の御支援と御協力をお願いしたい」と挨拶された。

▲髙野尚紀　参事（兼）農山村振興課長

続いて農林水産省農村振興局整備部設計課企画官の花田潤也氏より「日頃より、皆様には、農業農村整備事業の推進に御尽力いただき深くお礼申し上げる。これらの予算を活用し、令和2年度も農業の競争力強化と農村地域の国土強靭化をしっかり推進していかなければいけないと考えている。また、関係者の皆様の要望に応えられるよう、各地域において事業を進めていく必要がある。予算の確実な執行と事業の推進に、引き続き皆様の御協力をお願い申し上げる。令和3年度予算においては厳しい状況となることが想定される。また、食料・農業・農村の基本計画は、令和3年度に計画の見直しがあり、来年度はとても重要な年となる。現場の声を踏まえ、これからの農業農村の課題に対応できる計画としていきたいと考えている」と挨拶があった。

▲髙貝会長

本会髙貝会長も「令和元年度補正予算が1,542億円確保された。補正予算は、当初予算で足りない部分を補填するものであり、これを確保していただいたことに改めてお礼申し上げる。令和2年度当初予算においても、4,433億円が確保された。概ね全国の要望をカバーできるものと認識しているが、これも関係の皆様が地元の声を届けていただいた結果であり、改めて感謝申し上げる。今年度は積雪が非常に少なく、春の水不足が心配されるが、大きな問題とならないよう願うばかりである。本日の説明会を、皆様にとって有意義なものとし、それを地元での農業農村整備の推進に活かしていただきたい」と挨拶された。

その後、令和2年度予算概算決定の概要及び個別事業の説明、質疑応答が行われた。

令和元年度

土地改良区体制強化事業

土地改良区体制強化事業に関連した令和元年度秋田県管理運営体制強化委員会並びに、秋田県受益農地管理強化委員会については、3月中旬に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、委員会の開催は見送り、書面による審議が行われました。

各委員会資料から、令和元年度の主な事業実施状況についてご報告いたします。

○秋田県管理運営体制強化委員会（施設・財務管理強化対策事業）

1．土地改良施設の診断・管理指導

・土地改良施設の管理指導業務実施状況

区　分		指導土地改良区等数　（単位：団体）					指導施設数　（単位：ヵ所）								診断日数
		土地改良区	市町村	農協	水利組合等	計	ダム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	水路	その他	計	
定期診断指導		40	2	0	0	42	6	16	53	2	22	0	1	(100) 100	34
要請診断指導	定期対象	7	1	0	0	8	1	1	5	0	1	0	0	8	4
	定期対象外	11	2	0	0	13	0	2	5	0	2	16	0	25	13
計		58	5	0	0	63	7	19	63	2	25	16	1	(130) 133	(49) 51

※上段に（　）書きで計画、下段は実績を記載している。
※要請診断で定期対象と定期対象外の両方を実施している団体数は定期で計上している。

2．土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策（土地連対応分）

◇相談件数　　22件
◇処理内容　　弁護士2件、内部処理20件
◇依頼人　　土地改良区21件、市町村1件
◇相談事例　　・差し押さえの手続きについて　・未収賦課金の処理方法について
　　・相続財産管理人の選任申立について　　他

3．財務管理強化に関する指導等

(1) 複式簿記会計に関する巡回指導

	土地改良区（連合）	現地指導回数（延べ）	現地指導実施者（人）				備　考
			会計指導員	会計の専門家	地方連合会	合　計	
計	30 土地改良区 1 土地改良区連合	70	119	0	19	138	

(2) 会計の専門家の配置

◇専門家の配置　　税理士1名
◇相談対応　　複式簿記会計の導入に関する事項（7件）

(3) 財務管理強化相談業務

ア．相談窓口の開設　　相談件数20件　　・複式簿記会計の導入
　　・その他の会計経理の課題　　など

イ．会計指導員による指導監査等

・農業基盤整備促進事業に関する外部監査　－　2土地改良区で実施
・「会計指導員」認定試験　－　土地連職員2名合格

(4) 監査実務等向上研修

開催月日	開催場所	講義内容		講義内容					備　考
		課目	時間数	土地改良区	土地改良事業団体連合会	都道府県	市町村	その他	
R1.11.6	大曲地域職業訓練センター（大仙市）	①～③	120分	61	4	4			
R1.11.8	能代山本広域交流センター（能代市）	①～③	120分	79	4	6			
R1.11.11	秋田テルサ（秋田市）	①～③	120分	86	4	12			
		計		226	12	22	0	0	260

〔講義内容：課目〕 ①複式簿記会計のポイント　②土地改良区監事の職務と監査　③土地改良区の指導監査に関する情報提供

○秋田県受益農地管理強化員会（受益農地管理強化対策事業）

1．換地選定手法指導

新規事業開始の地区に対して、換地業務の仕組みや換地設計基準・評価基準の作成指導を実施。また、2年目の地区に対しては換地計画原案作成のための換地選定に関する指導を行う。

・換地技術者指導員　　4名　（内土地連4名）
・指導地区数　　17地区（面積2,364.8ha）

2．財務管理制度活用等推進・個別地区指導

(1) 普及・啓発活動

・普及啓発活動地区　4地区
・関係団体　　仙北市、二ツ井白神土地改良区、秋田県能代地区土地改良区、三種町土地改良区
・関係面積（戸数）　337ha（582戸）

(2) 制度活用指導

・制度活用地区　　1地区（換地処分）
・関係団体　　秋田県西仙北土地改良区
・関係戸数　　186戸

3．研修会の開催

	研修の種類	研修の課目	開催日程	開催日数	開催地	研修対象者	参加人数
①	換地委員等実務研修	換地と換地委員の役割について	R1.7.30	1日	秋田市	土地改良区役職員・事業推進委員　他	153人
②	換地計画実務研修	換地計画書の構成について	R1.12.12	1日	秋田市	土地改良区役職員・換地処分事務従事者　他	90人

4．換地事務量総括表

区分	項目／種別	地区面積（ha）	計画原案（ha）	計画書作成（ha）	計画決定（ha）	換地処分（ha）	確定測量（ha）
県営	ほ場整備事業	49工区 7,766.9	5工区 1,033.9	2工区 187.9	5工区 327.8	5工区 327.8	6工区 746.9
	公特事業	1工区 37.1			1工区 37.1	1工区 37.1	
	機構関連事業	6工区 147.2	2工区 57.3				
	合　計	56工区 7,951.2	7工区 1,091.2	2工区 187.9	6工区 364.9	6工区 364.9	6工区 746.9

令和元年度秋田県土地改良区

統合整備推進協議会

3月11日(水)令和元年度秋田県土地改良区統合整備推進協議会が開催された。当日は10名の委員(内、代理出席1名)と3名の幹事の出席により会議が行われた。

冒頭、本会会長である髙貝委員長から「土地改良法が大幅に改正され、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業や農業用水利施設の耐震化を図る制度が創設され、県においても制度を積極的に活用し事業推進していくと聞いている。こうした事業推進をしていくためには、土地改良施設の管理主体であり、また、地元の意見・要望など調整役である土地改良区が重要な役割を担っている。また土地改良区が担う役割も多様化している一方で高齢化による組合員の減少など土地改良区の取り巻く環境は大きく変化している。こうした中で関係機関と適切な連携や組合員そして地域の要請に応えていくためには統合整備により、事務局体制の充実を図り維持管理や運営経費の節減等の合理化を進め盤石な業務運営体制を構築することが重要である。こうしたことから引き続き統合整備を積極的に推進していくことが重要である」との挨拶がされた。

議事に入り、本年度の事業として、5地区の協議会・研究会に委員・幹事として出席し指導・助言を行ったことや、1地区に研究会助成金、1地区に合併地区運営費助成金を支出したなどの説明が行われた。次に来年度の事業計画案として、各地区の協議会・研究会に委員・幹事として出席し指導・助言を行うことや、1地区に研究会助成金を支出予定である等の説明がなされた。いずれの議案についても出席委員全員の賛成により議決された。

議事の後、県農地整備課舛谷課長からは来年度の土地改良区の統合整備に向けた県の取組などについて情報提供があり、活発な意見交換の後、委員会を終了した。

【秋田県の土地改良区統合整備推進状況】

令和2年3月11日現在

No	組　織　名	関係土地改良区名	土地改良区数	備　　考
(合併推進協議会)				
1	雄和中央・豊岩小山地区 土地改良区統合整備協議会	雄和中央 秋田市豊岩小山	2	H30.7.2協議会設立 R2.1.29合併認可 参考面積1,041ha
2	山城水系土地改良区 統合整備推進協議会	山城水系 大森	2	R1.8.28協議会設立 参考面積1,449ha
3	湯沢雄勝地区土地改良区 統合整備推進協議会	雄勝郡山田五ヶ村堰 湯沢市中央　稲川 羽後町	4	H30.11.7協議会設立 参考面積1,449ha
(合併研究会)				
4	新城川、天王、昭和地区土地 改良区統合整備研究会	新城川　潟上市天王 昭和	3	H28.12.22研究会設立 参考面積4,505ha
5	秋田市土地改良区統合整備 研究会	仁井田堰　河辺郡芝野堰 秋田市豊岩中央　左手子　雄和 秋田市旭川筋　雄和中央 秋田市孫左衛門堰　河辺 秋田市上北手猿田　秋田市上新城 秋田市上北手小山田　新城川	13	R元.10.25研究会設立 参考面積7,122ha

令和元年12月設立

あきた水土里ネット女性の会

秋田県土地改良事業団体職員会の女性会員が、研修や情報ネットワークの確立、交流等を図りながら、農業農村整備事業並びに土地改良区の運営や活動への参画の機会を通じて、意識の高揚と女性の活躍の推進に寄与することを目的に、令和元年12月に「あきた水土里ネット女性の会」が設立された。

今後は、講演会や研修会の開催、会員相互の情報ネットワークの確立を図る活動、会員の資質向上を図る活動、他の女性団体(グループ)との交流、女性の活躍を推進するための活動等を計画している。

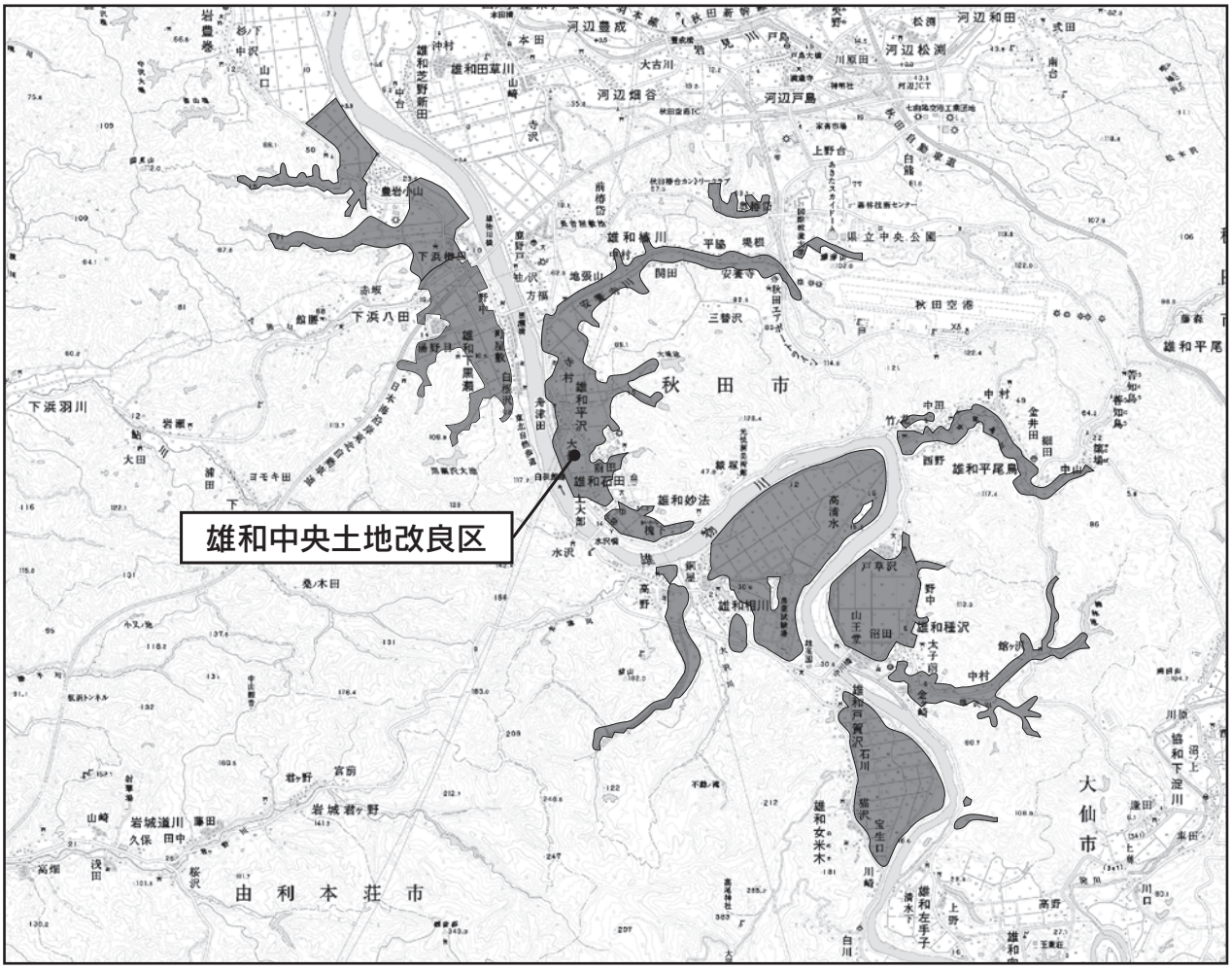
設立会議では、会長1名、副会長3名の選任も行われ、会長には根本由紀子さん(かづの土地改良区)が選出された。

▲水土里ネット秋田で開催された設立会議

新たに合併した土地改良区についてお知らせいたします。

雄和中央土地改良区

合併土地改良区	雄和中央土地改良区・秋田市豊岩小山土地改良区		
合併形態	吸収合併		
合併認可	令和2年1月29日	組合員数	612人
理事長	伊藤　錚悦	所在地	秋田市雄和妙法字上大部23
面積	1,041ha	連絡先	TEL.018-886-2663　FAX.018-886-4022



令和元年度第3回水土里の広報委員会を開催

2月26日（水）本会第1会議室にて「令和元年度第3回水土里の広報委員会」が開催された。

初めに本会総務企画部佐藤部長より「広報委員会は平成29年度から今回を含め延べ8回開催している。その間ワークショップ等を通じて、皆さんの広報のスキルも向上し、一定程度の成果が得られたと言う事で、来年度からは一旦休止をする事となった。これまでの皆さんからのご協力に感謝を申し上げると共に、今後広報等に関する相談は今まで通り事務局にご連絡頂ければと思う」と挨拶があった。

今回は、これまで委員会で話し合いを重ね出た意見や、先に事務局で改善出来る点などを反映させて作成した**「水土里ネットだよりVol.4」**についてと**各管内（委員の皆さん以外の改良区）の広報誌**について改善点などはないか3グループに分かれそれぞれ話し合いをしてもらった。

グループワークで出された意見は下記の通りである

■「水土里ネットだよりVol.4」について

・表紙を写真にする事でインパクトがあり良い
・「子ども絵画展」参加小学校にも水土里ネットだよりを配布してはどうか
・前回（Vol.3）のデザインの一部活用等

■各管内の広報誌について

・個人情報は充分に注意をして掲載しなければならない
・広報担当が集まる機会を作り、研修会を開催してはどうか
・文字だけではなく、写真やグラフの有効活用等

改良区発刊の広報誌については、**「改良区毎の職員数や予算の関係もあり、広報誌を発行する事だけが目的になっている所もある」**と言った声や**「なかなか他の改良区の広報誌を見る機会がなかったが様々な改良区の広報誌を見る事が出来て良かった」**との声が上がり、委員同士の有意義な意見交換の場とする事が出来た。

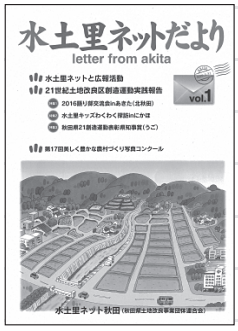
今回で広報委員会は一旦休止となるが、今まで委員会で出た沢山の意見をこれからも反映させ、より良い広報活動、広報誌をお届け出来るよう事務局一丸となり活動していきたい。

～「水土里の広報委員会」これまでの成果について～

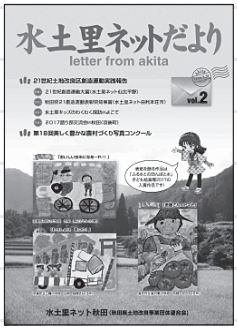
平成29年度より「水土里の広報委員会」を計８回開催し、沢山の話し合いを重ねてきましたが、その成果について一部ご紹介します。

■「水土里ネットだよりVol.1 ～ 4」

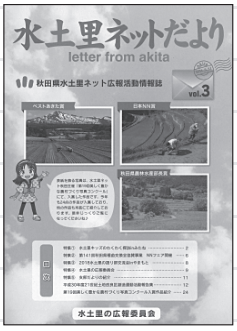
Vol.1



Vol.2



Vol.3



Vol.4

作成中

良くなった点

○文字を減らし、イラストや写真を増やして読みやすくした

○手に取りたくなるような表紙のデザインに一新した

○紙質をコート紙に変え、写真がより綺麗に見えるように工夫した

○幅広い世代に見てもらえるよう、今回（Vol.4）から秋田市内の小学校にも配布etc.

〈例〉「水土里キッズのわくわく探訪」ページ

説明を簡素化し
写真を大きく載せた

after（Vol.3）

before（Vol.1）

行った場所が一目で分かるように
地図を付けて見やすくした

来年度発刊「水土里ネットだよりVol.4」では、今回ご紹介した改善点以外にも今までの広報委員会でご提案して頂いた内容を踏まえ、更に見ごたえのある広報誌となっております。4月発刊「秋田の土地改良」と一緒にお届けする予定となっていますので是非ともご覧ください！

令和元年度 東京フォーラム 「農業農村の多面的機能の保全対策」が開催される

2月20日（木）東京都化学技術館サイエンスホールにて、東京フォーラムが行われた。今回は農業農村の多面的機能の保全対策をメインテーマに、東京農大教授の藤川智紀氏、新潟県の（一社）農村振興センターみつけ事務局長　椿一雅氏、及び兵庫県の浅野美しい村づくり代表　藤本忠義氏より講演があった。特に、平成19年度から始まった多面的機能支払い制度により、全国2,800組織で農振農用地の54％をカバーし、令和2年度を含む事業費が1兆円を超えるなか、その効果が評価されているものの、人口減少、高齢等により交付金活動の継続が厳しい地域がみられている状況となっている。

このようなことを踏まえ、講演では、「農山村の持続的な発展のためには何が必要か」、「地域の抱える現状の課題と工夫」また農水省の若い人への意識調査によれば、同事業へ協力したいとの回答が8割もあることから、若い世代の事業でもあるとの認識で農業者以外と協力し展開していくことが大切であり、そのためにはより分かりやすい形で伝えることが必要であるとの報告があった。また同時に若手技術者の資質向上を目的とした、令和元年度（第11回）梶木賞の表彰式が行われ、本県からは県農山村振興課の田中裕太郎さんの「農村の直面している課題とその対応策【人口減少の対応策としてのほ場整備の効果について】」が優秀賞を受賞した。

水土里ネット秋田　退職される方々からひと言

今年度で退職される4名の役職員の方々をご紹介します。
1．所属・役職　　2．ひと言

藤原　元吉

1.専務理事
2.平成28年4月から4年間お世話になりました「水土里ネット秋田」を3月末で退職することになりました。この間、関係の皆様からは多くのご支援・ご指導を頂き、感謝申し上げます。4月からは、実家である湯沢市において中山間地域の農地保全に尽力しておりますので、引き続きのご指導をよろしくお願いします。

松橋　久光

1.総務企画部　広報・渉外班
専門員
2.新米の技師時代より専門員（畜産会館・福祉会館・土地改良会館1F～ 3F）まで、様々な分野で土地連・土地改良区の皆様のご指導により業務ができたことに感謝しております。4月以降も農業農村整備の分野で頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

真坂　千鶴子

1.総務企画部　総務・経理班
主事補
2.この度、28年間お世話になりました「水土里ネット秋田」を3月末をもちまして退職することになりました。在職中は、皆様よりたくさんのご指導を頂き、心より感謝申し上げます。たくさんの方々との出会いに感謝し、これからの糧として活かして参りたいと思います。長い間大変お世話になりました。

倉部　美知子

1.秋田県多面的機能支援協議会
主事補
2.多面的機能支払交付金の仕事に携わるなかで様々なことを学び、また多くの貴重な経験をさせていただきました。皆様から温かなご指導・ご助力をいただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

おらほの自慢っこ
シリーズ 18

来てけれ！　八郎潟町

八郎潟町産業課
千田　浩美

願人踊

秋田県指定無形民俗文化財の「願人踊（がんにんおどり）」は毎年5月5日に行われており、一日市神社祭典で奉納踊を演じた後、各家々を門付けして回ります。
裾をはしょった女物の長襦袢の羽織、前垂れを腰から下げた踊り手の、奔放でリズミカルな踊りが特徴で、途中、山賊「定九郎」と爺ちゃ「与市兵衛」が登場して演ずる寸劇が踊りを一層楽しいものにしています。

一日市盆踊り

秋田県の三大盆踊りの一つとされる一日市盆踊りは、毎年8月18日から20日までの3日間、一日市商店街を会場に開催されます。
昔は様々な踊りがありましたが、永い年月の間に「見る踊り」ではなくなり、いわゆる「踊る踊り」として大衆化し、浴衣姿や色とりどりの仮装をした踊り子が、太鼓や笛の音に合わせて歌いながら踊る姿は、夏の風物詩となっています。

一日市裸参り

1月1日午前0時、冷水で水垢離をして体を清めた若者たちが、勇ましいいでたちで樽神輿を担ぎ、除夜の鐘が鳴り響く中、一日市神社を始めとして町内の各神社を参拝します。
県内裸参りのトップを切る行事です。

塞ノ神農村公園（田んぼアート）

町を一望できる展望台があり、小学校の「なべっこ遠足」の定番スポットとしても町民に親しまれています。
平成28年からは八郎潟町地域振興協議会による田んぼアートが鑑賞でき、町内外からも多くの人が訪れております。

八郎潟町のお土産

あんごま餅

つくだ煮

いちじく羊羹

土地改良区の概況について

男鹿市土地改良区
三戸　悟

本土地改良区は、平成30年1月に男鹿市内の旧7土地改良区の合併により、男鹿市土地改良区として新設されました。

本地区は、男鹿半島の南東部、寒風山の麓に広がる受益面積が水田約2,170ha、畑地約170haで一部男鹿国定公園と中央北西部に位置する北浦一ノ目潟地区が含まれる、組合員約1,500人の土地改良区で、旧若美地区、男鹿東部地区、渡部地区、払戸地区、福川地区、八西地区、一ノ目潟地区の7地区からなり、一ノ目潟地区と一部地区を除き、八郎潟西部承水路から取水している関係で、地区内十数か所に揚水機場が設置されており、各施設に管理人等を設け対応しています。また、ため池等も30ヶ所程あり、施設の老朽化が進んでおり、維持管理には、各地区で多面的機能支払交付金事業も利用し、大変苦労しながらも対応しています。特に、八西地区の幹線排水路及び排水機については、できる限り早期に施設の更新ができるよう要望しているところです。

また、旧若美地区は、平成30年度に福米沢本内地区の基盤整備事業も完了し、一部の地区を除き大区画化が図られております。

現在、北浦一ノ目潟地区で、県営野村地区農地集積加速化基盤整備事業の令和2年度採択を目指して、作業を進めております。また他の地区においても基盤整備計画が出てきているところです。

男鹿においでの際には、気軽に事務所へお立ち寄りください。

寒風山から見た船越・脇本地区

寒風から見た若美・福川方面

第１排水機場

一ノ目潟ため池

「随想」――シリーズ㉘

秋田市上新城土地改良区
伊藤あや子

当土地改良区は、秋田市の北部に位置し、人口減少により空き家が目立つ地域ですが、廃校になった中学校を再利用して平成31年に〝みんなでつくる体験型拠点〟秋田市農山村地域活性化センター「さとぴあ」がオープンしました。出不精の私も、近くにできた施設を利用しない手はないと思い、早速、手始めに、孫と一緒に田植え、稲刈り体験、また、そば打ち体験、ハーバリウム講習会等に参加し、完成した作品は、改良区の窓口に飾っております。

事務所は上新城地区コミュニティセンター内にあり、施設の職員Aさん(60代男性)、Bさん(30代女性)と和気藹々と仕事をしております。

最近、総会資料作成時に昔はコピーではなく青焼きだったことでAさんと盛り上がり、調子づいた私は、自分が勤めていた頃はガリ版、鉄筆で作業していたことを話したところ、説明下手な私にBさんにはガリ版も鉄筆も理解できず、ネットで調べ始めやっと納得してくれました。店の電話番号や地図情報など、ネットで何でも調べられ便利な時代です。これまで一番助かったのが、車のハンドルロックをネット検索で解除したことですが、ただ便利なことばかりでなく、人様のブログを見て「これはいいよ」となれば、あまり必要でなくてもついつい買ってしまうことです。例えば電気圧力釜、ベジチョッパー等々。

勧誘には弱い私ですが、「オレオレ詐欺」にはかからない自信があります。自分には息子がいないので、でも、娘がいるので「おらおら詐欺」はちょっと心配です。

令和という新しい年号も慣れてきた昨今、賦課金通知書の平成から令和に直す作業に追われていたことが懐かしく感じられます。

▲さとぴあ

第20回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール

2月4日(火)本会第1会議室にて写真コンクール審査会が行われ、入賞作品24点が決定しました。入賞作品については、本会HP「写真コンクール」のサイトにてご紹介しており、下記QRコードからもアクセス出来ますので、是非ご覧ください。

■QRコード

＜審査会の様子＞

ベストあきた賞

「継がれる道」

佐藤　成公
(撮影場所：秋田市雄和)

日本NN賞

「七夕の日」

佐伯　範夫
(撮影場所：島根県大東)

秋田県農林水産部長賞

「心のふる里」

佐藤　あい子
(撮影場所：にかほ市象潟横岡)

五城目朝市

水土里レポーター：馬場目川水系土地改良区　石井　貴浩

五城目町には朝市があり、五城目町下タ町通りには店が出て、地元の野菜や山菜が並びます。季節に合わせて山菜まつりや鍋まつりなどの多くのイベントが開催されています。

また朝市開催日と重なる日曜日に「ごじょうめ朝市plus＋」が開催されて若者の出店もされています。

毎月２、５、７、０のつく日の午前中に開催しているので、興味のある方はお越し下さい。

連合会日誌

２月17日	第6回監事会	本会第3会議室
２月17日	第4回理事会、第3回役員会	本会第1会議室
２月26日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
３月３日	令和元年度秋田県農業集落排水連絡協議会担当者研修会	秋田市
３月５日	全国水土里ネット理事会	東京都
３月13日	第62回通常総会	秋田市
３月18日	基金管理委員会	本会第2会議室

今後の行事予定

３月26日	全国水土里ネット通常総会	東京都

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。
〇大仙市西仙北土地改良区（R2.2.5）
理事長　佐々木　孝雄

リレー感想文 vol.20

広報業務を担当して2年が経とうとしていますが、会報誌の編集に携わる度、広報の難しさなど実感させられる事が多くあります。改良区、県、関係者の皆様には広報業務にいつも快く協力して頂き感謝の気持ちでいっぱいです。来年度からも「秋田の土地改良」がより一層良いものとなるように努力して参ります。

総務企画部 広報・渉外班　寺澤　藍

編集後記

昨今のしごとの内容、ふと　めがね？のCM「小さすぎて読めないー」を連想します。

30年ほど前は、どこの事務所でも課長の後ろに「世話活動に徹しよう」という、額入りの壁掛け標語があり仕事の根幹になっていました。今どきは、やりすぎれば「おっせかい」、でもＮＮの原点ではないかと思って仕事にむかっていますヨ。

◇なぞかけ◇

土地連最後の投稿となりますので、なぞかけをひとつ。

土地改良事業とかけて、「オリンピックの球技種目」ときます、そのこころは「ネットプレー」が見逃せません。　（広報・渉外班　松橋）

【発行所】　秋田県土地改良事業団体連合会　〒010－0967　秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018－888－2750(代)　FAX 018－888－2834
http://www.akita-midori.net/

（ISO9001:2015認証）
MSA-QS-3254　JAB CM024